

(公社) 日本鍼灸師会 全国大会 in 愛知大会レポート

実技1：「てい鍼術～TSTとは～」

講師：船水隆広先生（呉竹学圏臨床教育センター）

報告者：前嶋拓也（研修委員会）

船水隆広先生による実技講演は、立ち見が出るほどの大盛況でした。

『TST』の正式名称は、『Takahiro Style Technique（タカヒロスタイルテクニック）』と言い、メーカー側から海外の方向けに術式名を付けてほしいと言われて、自信を持って提供できるよう想いを込めて名付けられた。

てい鍼に着目したのはメンタルヘルスケア（心の病）に対応するためである。コロナ禍に入ってから引きこもりや起立性低血圧の小学生が増えてきている。回復傾向のうつ病の方に美容施術を加えると効果が高まり、顔の血流が良くなり目と口の開きが大きくなる。

鍔鍼（ていしん）とは、訓読み：テイ・シ 音読み：うつわ（気と血を入れるうつわ）で、金属を使う理由は土生金で気が育まれているからである。

気血を動かすことを目的とした施術で、気を注ぎ流す術式が基本、激はごく少なく、経絡、経穴に触れる程度である。気は振動であり、気だから電気でもいいと説明され、コード付きの電気鍔鍼が搭載された低周波治療器も販売されていることから、現代鍼灸に基づく施術をされている先生方も実践できると感じた。

うつ状態や不安、パニック症状などの様々なメンタルヘルスケア、補法・瀉法をすることで様々な疾患に対応できる。

てい鍼の材質で使われている「金・銀・銅・ステンレス・チタン」などの特徴、初心者にはステンレス製がお勧めで運動器疾患に向いていることについて説明された。

気の考え方は、気と水の関係、気が噴き出すところ＝経穴、気の流れはコマに例えることができる、気はスパイラルで巡る。

術名は水や風など自然に起こることを術名にしている。（人は小自然）

実技披露では、皮膚のきめ細かな部分とザラザラした部分の境目が気の滞りがあり、頭部は大事でありうつ症状の方にはおでこへアプローチすると説明され、船水先生の華麗な施術に参加された方々が酔いしれた。

鍔鍼施術の可能性として、痛みに敏感な方に行える、初鍼の患者さんに恐怖を与えない、子供・老人にも事故な無く使える、世界中どこでも行える、災害時などでも行える、特にメンタルケアに効果があると期待されることから、鍼灸（はり・きゅう）施術を受けるためのはじめの一步として刺さない鍼施術で

ある「鋳鍼（ていしん）」が、国民の皆様に鍼灸のホントのチカラを伝えることができるのではないかと思う。